

株式会社ユニコーン 様

寄贈井戸完成報告

ネパール・バグマティ州シンドウパルチョーク郡
インドラワティ農村型自治体 10 地区ボテシパ村レイリー集落
Raile, Ward No. 10 Bhotsipa, Indrawati Rural Municipality,
Sindhupalchock District, Bagmati Province, NEPAL

公益社団法人 アジア協会アジア友の会 (JAFS)

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-2-14

肥後橋官報ビル 5 階

TEL (06) 6444-0587

FAX (06) 6444-0581

Email: asia@jafs.or.jp

HP: <http://www.jafs.or.jp>

寄贈者 **株式会社ユニコーン 様**

- 完成年 2022年10月
- 現地提携団体 AFS Nepal (Asian Friendship Society Nepal)
—ネパールアジア友の会—
- 寄贈場所 ネパール・バグマティ州シンドウパルチヨーク郡
インドラワティ農村型自治体10地区ボテシパ村レイリー集落
- 受益者 7世帯
- 井戸の形式 水道パイプラインにより水7軒(7カ所)に設置し、給水
- 設置世帯名
 - ①Chabilal Damai 7名
 - ②Raj Kumar Sundas 3名
 - ③Kamal Thakuri 6名
 - ④Keshav Darji 5名
 - ⑤Krishna Bahadur Damai 6名
 - ⑥Kumal Bahadur Sundas 6名
 - ⑦Nawarij Bhattarai 農業用
- 受益者よりの感謝のことば
代表者：Chabilal Damai より

私たちの集落の各世帯に水道の設置が決まった時には、踊り出すぐらいに大変嬉しかったです。水を得るために長年苦勞をしてきましたが、これからは自分たちの家で水が出るようになったのです。夢のような現実が、私たちの日常にやってきたのです。とくに我が家と Kumal Bahadur Sundas の2世帯は子ども達も多く、きれいな水を得ることが出来ない時には、子ども達が頻繁に下痢をしていましたが、これからは水の管理もされるため、安心してこの水を飲むことが出来ます。つい先日まで息子の嫁は、私たちが畑に出ているので乳児の孫を背負って水汲みを日に何度も行かなければならず、

どこかで転ばないかと心配をしていました。しかし、そのような心配もなくなりました。これからはこのような心配が無用になった事、そして水汲みに行かなくて済むようになったことは私たちの生活に劇的な変化をもたらしてくれました。水道代金を払う必要がありますが、これまでできなかった野菜作りや家畜を飼うことができます。生活向上にこの水が大いに役立ちます。ご支援誠にありがとうございました。再度ネパールにお越しになる機会がございましたら、是非私たちの集落にお立ち寄りください。

本水道管理組合、又、この事業をサポートすることが出来ました AFS Nepal（ネパールアジア友の会）よりもこの度のご支援に対して、最後にもう一度心より感謝申し上げます。

●設置場所地図： ネパール・バグマティ州シンドウパルチョーク郡インドラワティ農村型自治体 10 地区ボテシパ村レイリー集落



ネパール全体図

インドラワティ農村型自治体
10 地区ボテシパ村



ネパール シンドルパルチョーク郡 インドワラティ村 水場の設置についての報告

株式会社ユニコーン様のご支援により、ネパール シンドゥパルチョーク郡インドラワティ農村型自治体 10 地区ポテシパ村レイリー集落 7 世帯に水場を設置し、それらの各家庭にて安全な水がすぐに利用できるようになりましたので報告いたします。



この地区では、日々の生活に必要な水を得るためだけに、家から数キロも離れた水場まで 1 日 2-3 回歩く生活を送る家庭も存在するほど、水の獲得に長年苦勞してきました。特に、連日大雨が続くモンスーンの時期は、どしゃぶりの中であっても水を汲みに行く必要があります。小さい子供がいる家庭では、時にその子供を一人家に残し水を汲みに行くこともあります。さらに、その水場には、水を求めてたくさんの人が集まるため、水を得るために行列に並ばなければならず、1 日の 4-5 時間を水汲みに費やす必要があったり、時には水の取り過ぎや水場の占領が原因で村人同士の喧嘩が生じるとこともありました。また、水場にはネズミやカエルが居ることもあり、モンスーンの季節には水が濁ってしまい、不衛生な水により、たくさんの子どもたちやお年寄りが赤痢などの病気にかかってしまうこともしばしばありました。

このような状況を改善すべく、JAFS および現地提携団体である AFS ネパールは、2019 年 3 月から 3 年間に渡り、この村に住む人々に安全な水を届ける活動を行ってきました。この活動では、ポテシパ地区の住民が、農業用と飲料用の安全を容易に確保できるよう、集落から数キロ離れた河川から水を取水する揚水施設の建設を村人達とともに進め、また、その施設を今後村人達が適切に管理・運営することができるよう水管理組合の設置を支援してきました。

詳細は、別紙アジアネット
150 号「ネパール揚水システム
完成」の記事をご覧ください。



そして、現在、その活動の成果として、対象とする約 520 世帯に水場を設置するための基盤（各種タンクおよび配水・給水管）が整備され、ようやくそのうちのレイリー集落 42 世帯の庭先にまず、水場を設置することができました。

この活動により、今回水場の設置が完了した世帯の一員であるパタリさん（以下の写真の左から 2 番目）から、以下のメッセージをいただきました。

「長い間水を汲むのに大変苦勞してきました。私は、もう年寄りなので自分で水を汲みに行ったり、重い水運んだりすることができません。このため、これまで義理の娘が、往復 30 分以上かけて一日に複数回水汲みに行っていました。それが、今では、自宅の庭先で水を汲むことができるようになりました。これは、私たちにとって大変幸せなことです。これを実現するために経済的な支援をしてくださった日本の皆さまに本当に感謝しています。」



【株式会社ユニコーン様が支援くださったことで水道が設置された世帯よりのコメント】

株式会社ユニコーンの皆様、この度は私たち 7 世帯が自分たちの家の敷地内で水を汲めるようにご支援くださりまして、ありがとうございます。私たちは毎日あなたのお名前をみて、あなたの事を思って生活をしています。私たちはお会いしたことはありませんが、いつも繋がっています。あなたの家でもあるこの集落に、是非ともお越しください。心より歓迎します。

水場の設置が完了した各家庭では、これまで水を汲むために費やしていた多くの時間を、家族と過ごす時間、農作業をする時間、勉強し、友達と遊ぶ時間など、生活の中のより重要なことに使うことができるようになりました。また、衛生面において安全で、より健康的な生活を送ることができるようになりました。

この度上記の 2 世帯を含む 42 世帯に対し水場を設置することができましたことを、ご支援いただいた株式会社ユニコーン様に大変感謝いたします。

そして、JAFS および AFS ネパールは、引き続き残りの約 480 世帯に対し 1 日でも早く水場を設置できるよう今後も活動を続けてまいりますので、今後とも皆様のご支援よろしくお願いいたします。

2022 年 10 月 15 日報告



No.



No.



No.

No.



No.



No.



